

震災余震相次ぐ

青森・岩手で震度5

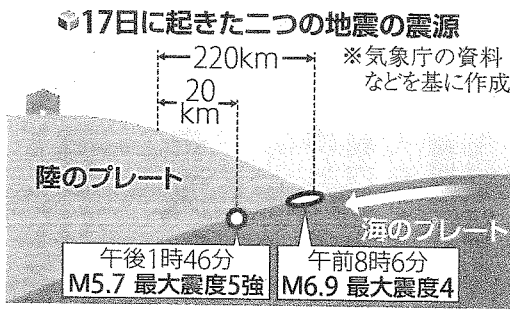
17日午後1時46分頃、岩手県沖を震源とする強い地震があり、青森県階上町で震度5強、岩手県普代村で震度5弱を観測した。気象庁によると、震源地は岩手県久慈市から約30キロ東で、震源の深さは約50キロ。マグニチュード(M)は5.7と推定される。同日午前8時6分頃にも、三陸沖を震源に推定M6.9の地震が

発生。どちらも東日本大地震の余震とみられ、気象庁は注意を呼びかけている。午後の地震の影響で、東北新幹線の北上(岩手)―

七戸十和田(青森)間を走行中の新幹線が一時運転を停止した。約8分後に運転を再開したが、最大10分の間ほど最大で震度5弱程度の余震の恐れがあるとい



17日午後1時46分頃発生した地震の震源地



17日に起きた二つの地震の震源

※気象庁の資料などを基に作成

17日に発生した二つの地震について、気象庁は「2011年の東日本大地震の余震」と説明した。同庁の長谷川洋平・地震津波監視課長は「今後数年間は、大きな余震が発生する恐れがある」と警戒を呼びかけている。

数年間は要警戒

震源 プレート境界付近

西に約200キロ、ず離れており、同庁は別々に起きた地震とみている。午後の地震の方が、地震の規模を示すマグニチュード(M)は小さかったが、震源が陸に近く、最大震度は大きくなった。

巨大地震の数年後に大きな余震が起きるのは珍しくない。04年にM9.1の地震が起きたインドネシア・スマトラ島沖では、5年半後にM7.5の余震が発生した。

と青い森鉄道でも運休や遅れが生じた。午前の地震では、岩手、青森など4県で震度4を観測し、岩手県沿岸部に津波注意報が出た。同県久慈市で最大20センチの津波を観測するなどしたが、注意報は約2時間後に解除された。

う。同庁は、落石や土砂崩れなどに注意するよう呼びかけている。